

第4回 まちづくり市民ワークショップ《いばらきMIRAIカフェ》ニュース

◆ 次 第 ◆

(開会)

1. はじめに
 - ・ 前回までの振り返り、今回の取り組みについて
 - ・ 「いばらき MIRAI カフェ」と総合計画の関係
2. 報告
 - ・ 第 2～3 回で出された「言葉」を整理したものをみんなで確認します。
3. グループワーク
 - ・ 茨木市の「将来像」を描こう！
 - ・ 茨木市のキャッチフレーズを考えよう！

日時：平成 25 年 9 月 21 日(土)、9:30～11:50

場所：茨木市役所南館 10 階大会議室



当日の会場の様子

◆第4回ワークショップの概要

第4回ワークショップは 66 人の方に出席していただきました。

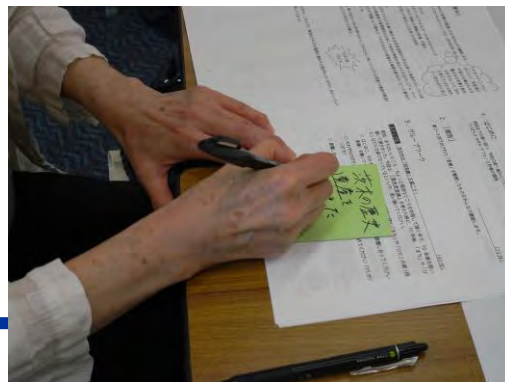
- まず、第 1 次総合計画(昭和 47 年策定)から第 4 次(平成 17 年策定)までのキャッチフレーズ(基本構想の基調)をその時代に起こった出来事とともに振り返りました。続いて、第 2 回～3 回で皆さんから出された茨木市のまちの将来像に関わる言葉を確認しました。
- これらを踏まえ、グループワークを通じて 10 年後の茨木市の将来像を表すキャッチフレーズを考えていただきました。

◆第4回ワークショップの内容

茨木市の将来像を表す キャッチフレーズを考えよう！

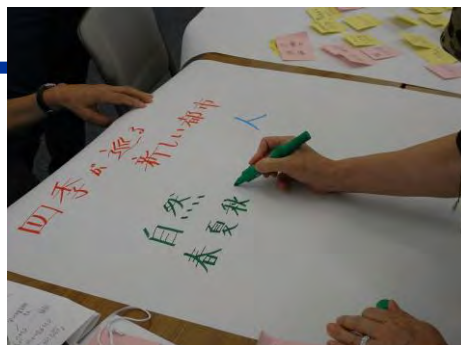
茨木市の「将来像」を描こう！

10 年後に望む「茨木市全体」の「まち」や「ひと」の姿(将来像)を考え、グループで披露し、内容を整理しました。



茨木市のキャッチフレーズを考えよう！

取りまとめた将来像をもとに、まちのキャッチフレーズを考えました。強調したいこと、将来像を代表させる言葉、置き換える言葉、語呂などを考えながらキャッチフレーズを作っていました。



「みんなで共有できる」「一瞬で関心をつかむ」「この先10年間のまちの物語を導く」キャッチフレーズを考えました。

自分ができる取り組みを考えよう！

仕上がったキャッチフレーズを踏まえて、そのキャッチフレーズのもとでの「まちづくりの活動」「自分ができる取り組み」について検討しました。



(感想)

- ・ 若い人や学生など色々な年代、立場の人の意見が聞けてよかった。
- ・ キーワードは意外と似ている。
- ・ テーマ別のワークショップに参加したい。
- ・ この調子でステップアップしていけたら。
- ・ このワークショップが「まちづくり」の大事な機会になっている。
- ・ 成果を行政はどうやって生かすのか知りたい

(など)

◆次回(第5回)の予定

日時:10月20日(日)9:30~12:00 場所:茨木市役所南館10階大会議室

内容:「茨木市の将来像とキャッチフレーズを共有しましょう」

今回、みなさんに考えていただいた「茨木市のキャッチフレーズ」を発表していただき共有したあとで、大学の先生やいま茨木のまちづくりに取り組まれている市民の方々のお話を聞きます。



発行:いばらきMIRAIカフェ事務局(茨木市企画財政部政策企画課 TEL072-620-1605)

ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/mirai>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/ibaraki.mirai.project>